

相生山病院外来担当医師表

外来診療責任者 副院長 松浦 昭

診療時間	診察室	月	火	水	木	金	土
9:00 ～ 12:00	1診	越 川	加 藤	神 谷	後 藤	奥 田	奥田・鈴木
	2診	【予約診療】 佐 藤(貴)	東	【予約診療】 佐 藤(貴)	松 浦	鈴 木	殿 村
	リハビリ科	奥 田	奥 田	倉 上	奥 田	倉 上	倉 上
	内視鏡		松 浦			松 浦	
14:00 ～ 16:00	専門外来	ボトックス外来 服 部			摂食・嚥下外来 服 部		
17:00 ～ 19:00	夜外来	鈴 木	殿 村	鈴 木	松 浦	【予約診療】 佐 藤(貴)	

急患の方はいつでも診察いたします。

第24回 相生山病院研究発表会

6月23日(土) 14:00～16:30

- 薬剤部** 「当院における
トルパブタン(サムスカ)使用状況について」
- 栄養科** 「とろみの調整剤を
均等に溶解する方法の模索」
- リハビリ科** 「当院地域包括ケア病床における
栄養状態と退院先およびFIMの関連」
- 検査部** 「尿検査の細菌検出における
亜硝酸塩試験の検討」
- 4階看護** 「多角的に見た排便コントロール」
- リハビリ科** 「IPEプログラムの試行・評価」
- 医局** 「当院で経験した
消化器・外科的疾患に関する検討」

東郷町長を表敬訪問

9月18日(火)に佐藤院長をはじめ3名で東郷町役場を訪れ、井俣憲治・東郷町長を表敬訪問いたしました。

井俣町長の町政に
かける熱い思いと、福
祉・医療に対する造詣
の深さに感銘を覚え、
相生山病院としても
協力を惜しまない旨を
お伝えしました。



ボランティア レポート

相生山病院では長期療養患者様に、治療以外の生活の楽しみを感じていただき、療養生活に活力を持っていただくことを目的にボランティア活動を行っていただける方を受け入れています。



6月30日(土)
14:00～

「歌・踊り」絆会



8月18日(土)
14:00～

「踊り」豊明和踊会

お知らせ

『健康になってちょ!』 講演会のお知らせ

相生山病院では、皆様方のご健康を願い「健康になってちょ!」と題して健康教育講座を設けております。どうぞお気軽にご参加ください。

平成31年1月 「日時・演題は未定です」
病院長 佐藤 貴久 医師

ボランティア

11月10日(土) 「合唱」
14:00～ アンサンブル華

12月15日(土) 「漫才」
14:00～ ファニーチャック

場所: リハビリテーション室にて

講演会やボランティア参加のお問い合わせはTEL(052)878-3711へお電話ください。

ご自由に
お取り
ください

相生山病院

ニュース

2018
秋号
第50号

●編集／医療法人 清水会 相生山病院広報委員会●名古屋市緑区藤塚三丁目2704番地 TEL (052) 878-3711 ●http://www.aioiyama.or.jp/

コラム 地域医療を考える上で相生山病院に必要な機能

相生山病院院長 佐藤 貴久

今回は、病院機能のお話をしたいと思います。世の中には大小様々な病院がありますが、各々の病院は、それぞれ求められている機能が違います。一般に、地域の中核を成す大病院を中心とした公立病院や公的病院では、高度な検査や医療を行う高度急性期機能を担って頂くことが多く、国から補助金も入るため、民間病院では対応しきれない不採算領域の医療も請け負って頂いています。現在、病院機能は高度急性期、急性期、回復期、慢性期の4機能に分けて考えており、各々の地域において、少子高齢化に伴い変化する患者像から将来必要な病床数を予測し、各病院が機能を転換する地域医療構想が進んでいます。国としては、将来高度急性期を減らし、回復期を増やしたいと考えており、愛知県も例外ではありません。というのは、今後若者が減り、高齢患者様が増加しますが、高齢患者様は侵襲の強い検査や治療は望まないことが多いため、入院費用が高額となる高度急性期病院ではなく、回復期病院で診てほしいと考えているからです。

今後は、**(1)高度急性期の病院**と、高度急性期病院からの転院を受け、リハビリ等を行う**④ポスト・アキュート機能**、高度急性期でなくても対応可能な地域住民の急性期疾患(肺炎や心不全など)を担う**⑥サブ・アキュート機能**、介護が必要な患者様でも在宅で生活できるように支援する**③在宅復帰支援機能**の3機能を担う **(2)使い勝手の良い病院**の二極化が進むと言われています。

この使い勝手の良い病院とは、主に回復期を担う病院と言えます。相生山病院は急性期病棟、回復期病棟である地域包括ケア病棟、慢性期病棟があり、急性期、回復期、慢性期を担っています。特に **④ポスト・アキュート機能**、**⑥サブ・アキュート機能**、**③在宅復帰支援機能**が主な機能であり、まさに使い勝手の良い病院と言えます。また、自宅退院後に、通院が難しい患者様に対しては、訪問診療の他、医療法人清水会として訪問看護、訪問リハビリ、ケアマネージャーによるケアプラン作成や調整を行っている他、介護力等の問題で在宅療養が難しい患者様に対しては、介護施設として老人保健施設が4施設、有料老人ホームが2施設の他、社会福祉法人勅使会に於いて特別養護老人ホームが3施設、軽費老人ホームが1施設、小規模多機能が1施設あり、様々な在宅の介護状況に対応できるようにしております。相生山病院は回復期機能を中心に担っておりますが、在宅医療や介護施設は地域医療構想では慢性期に含まれるため、医療法人清水会全体では回復期～慢性期機能が充実していると言えます。そして、清水会が持っていない機能が高度急性期機能です。相生山病院は、この高度急性期機能を補うために、法人を越えて医療機関が連携する地域医療連携推進法人“尾三会”で藤田医科大学(平成30年10月より改名)と連携しています。

このように地域の医療資源は有効に使い、入院から退院まで一病院で完結する病院完結型医療から、地域の医療機関で連携して地域で患者様を支える地域完結型医療に転換してきています。本来法人が違えば理念も目指すべき方向性も違うため、協力体制を築くのは難しいのですが、地域医療を守るという根幹となる考え方に共感し、協力体制を敷き、お互いの得意とする領域に専念することで、より強力な地域医療連合軍が出来上がると思うのです。初めはこの医療施設にかかったとしても、必要な時には高度急性期から慢性期までのどのような機能の医療機関でも対応してもらえるとなれば、安心と心強さに繋がるのではないのでしょうか。近い将来、地域医療体制に格差の生じる時代が来ると予測しています。そのような時代になっても、この地域に住んでいてよかったと思っていただけるような医療連携体制を構築したいと考えております。これからも医療法人清水会、相生山病院をよろしくお願いいたします。

臨床工学技士の仕事

臨床工学技士:長尾 佳奈江

臨床工学技士とは?

中々聞き慣れない資格ではありますが、一言で言うと、**医療機器を扱うスペシャリスト**とされています。

役割

現在、医療の現場は多くの医療機器に支えられ、臨床は発展してきました。その中で、医療機器の適正な操作と保守・点検を行い、安全を確保することです。

代表的な業務

血液浄化療法業務、手術室業務、集中治療室業務、呼吸療法業務、高気圧酸素療法業務、医療機器管理業務の6つです。

主に扱う医療機器

人工心肺装置、人工透析装置、人工呼吸器、高気圧酸素治療器、輸液ポンプ、生体情報モニターなどです。



生体情報モニター



輸液ポンプ



呼吸器

当院での主な業務

医療管理機器業務をしています。

具体的な仕事内容は、医療法に則り、人工呼吸器、輸液ポンプ、シリンジポンプ、除細動器、生体情報モニター、低圧持続吸引器の定期的な保守、点検を行い、臨床の現場で安全に使用できるようにしています。病棟のラウンドを行い、使用している機器が正常に作動しているかの確認や、医療ガスの配管のチェックなども行っています。

貢献していきたい事

- トラブル時に迅速な対応して、現場で働くスタッフの方々の業務が円滑に進むようにしていく事。
- 勉強会などを通して、情報を還元していく事。

どうぞよろしくお願い致します。



地域教育講座

「健康になってちょ!」レポート

相生山病院では、地域の方々の健康に少しでもお役に立ちたいと考え、健康な生活を送るための知識や病気の予防などについての講座を設けています。今回は下記の3講座を実施いたしました。



5月12日(土)
15:00～



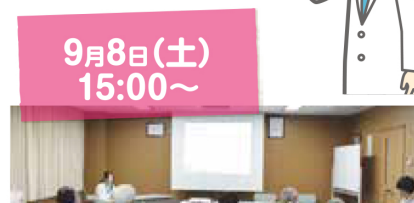
「家庭・施設での感染に対する考え方」
～厚生省のガイドラインに沿って～
講師:地域医療連携室長 神谷 保廣 医師



7月14日(土)
15:00～



「いのちのながさについて」
講師:鈴木 満 副院長



9月8日(土)
15:00～



「誤嚥性肺炎と転倒の予防について」
講師:服部 亜希子 医師